

みずほCustomer Desk Report 2019/10/07号(As of 2019/10/04)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	106.86 AUD/USD
TKY 9:00AM	106.83	1.0974	117.24	1.2345	0.6745
SYD-NY High	107.13	1.1000	117.48	1.2357	0.6774
SYD-NY Low	106.55	1.0958	117.09	1.2276	0.6739
NY 5:00 PM	106.94	1.0980	117.37	1.2333	0.6770
NY DOW	26,573.72	372.68	日本2年債	-0.3300	▲1.00bp
NASDAQ	7,982.47	110.21	日本10年債	-0.2100	▲1.00bp
S&P	2,952.01	41.38	米国2年債	1.4046	1.45bp
日経平均	21,410.20	68.46	米国5年債	1.3479	0.06bp
TOPIX	1,572.90	4.03	米国10年債	1.5282	▲0.51bp
シカゴ日経先物	21,555	175	独10年債	-0.5890	0.10bp
ロンドンFT	7,155.38	77.74	英10年債	0.4410	▲2.90bp
DAX	12,012.81	87.56	豪10年債	0.8890	▲3.95bp
ハンセン指数	25,821.03	▲289.28	USDJPY 1M Vol	6.85	▲0.45%
上海総合	-	-	USDJPY 3M Vol	6.65	▲0.48%
NY金	1,512.90	▲0.90	USDJPY 6M Vol	6.95	▲0.25%
WTI	52.81	0.36	USDJPY 1M 25RR	-1.38	Yen Call Over
CRB指数	173.49	0.09	EURJPY 3M Vol	7.05	▲0.25%
ドルインデックス	98.81	▲0.06	EURJPY 6M Vol	7.36	▲0.19%

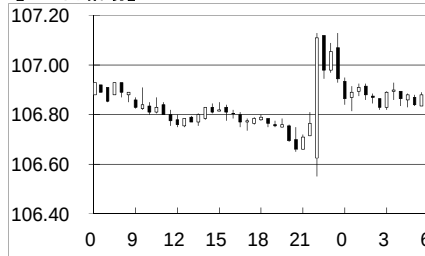
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
10月4日	10:30	豪 小売売上高(前月比)	8月 0.4%	0.5%
	21:30	米 非農業部門雇用者数変化	9月 136k	145k
	21:30	米 失業率	9月 3.5%	3.7%
	21:30	米 平均時給(前月比/前年比)	9月 0.0%/2.9%	0.2%/3.2%
	21:30	米 貿易収支	8月 -\$54.9b	-\$54.5b

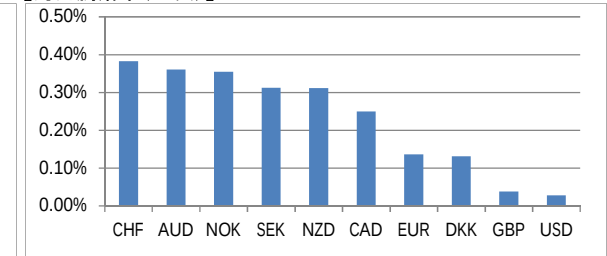
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
10月7日	15:00	独 製造業受注(前月比/前年比)	8月 -0.3%/-6.4%	-2.7%/-5.7%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケット・インプレッション】年金改革、ついに実現するか

外貨準備は潤沢、経常収支の赤字もそれほど大きくない、ただ通貨レアルは脆弱。ブラジルはファンダメンタルズに比して、通貨が弱い国である。もちろんファンダメンタルズも問題がないわけではない。ブラジルの最大の問題点は長らく、財政赤字だとされてきた。長らく続いた左派政権による貧困対策などのばら撒き政策は、プライマリーバランスを悪化させ、国の信用力の低下に繋がった。2016年には大手格付期間が軒並みブラジルの格付を『投機的水準』にまで引き下げ、足下も『投機的水準』に据置かれた。そのブラジルにおいて、財政再建の鍵と注目されてきたのが『年金改革』である。ブラジルの既存の年金制度は、年金受給開始年齢が50代と若く、また納付期間も30年程度と短く設定されていることで財政赤字の主要因とされてきた。また、今後ブラジルにおいても高齢化が進んでいくとされる中、財政健全化に向けた最重要課題とされてきたのが『年金改革』である。そうした中、年初に就任したボウソナロ大統領は国民に不人気な、この政策課題の成立に力を入れ、就任当初から多数の政党が議を削る議会を纏め上げ、8月には法案が下院を通過。先週には鬼門とされた計2回の上院採決の1回目を、全議員の5分の3を上回る賛成票を獲得し、可決。近く行われる2回目の採決にて、再び可決されれば、晴れて法案成立というところまで漕ぎ着けた。上院で現在審議されている法案による、歳出削減額は今後10年間で約8,000億レアル(約21兆円)と、当初案の1兆レアルの削減には及ばないものの、改革進展は素直にマーケットからも評価されるものとなるだろう。将来的な財政健全化に向けた道筋の第一歩を踏み出したブラジル、今後、信頼感の回復、格付の回復が海外からの投資の呼び水になることが期待される。(伊藤)

東京 東京時間のドル円は106.83レベルでオープン。前日米指標の弱い結果を受けた軟調な流れを引き継ぎ、ドル円はじり安の展開。NY時間に9月米雇用統計の発表を控えることもあり値動きは限定的となり、結局106.81レベルで海外時間に渡った。

ロンドン ロンドン市場はドル円は9月米雇用統計の発表を午後に控え小動きとなった。106.81レベルでオープン。動意薄く106.65-106.82の小幅レンジに終始し106.72レベルでNYへ渡った。ポンドは1.2351レベルでオープン。今週提案されたジョンソン英首相の離脱代替案を受けソフトラグジットの思惑が強まったものの昨日アイルランドのバックス首相は、英領北アイルランドとの開かれた国境を保護しない協定に署名はできないと強調しその案に反対。ラグジット先行不透明感が再び強まり1.2309まで下落した。しかし、お昼ごろ英首相はEU離脱法を順守するとの報が伝わると10月31日での合意なき英国の欧州離脱不安はいったん収まりポンドは1.2341レベルまで買い戻されそのままニューヨークへ渡った。(00531 444 179 ロンドン・トルジャー 西海)

ニューヨーク NY市場のドル円は106.72レベルでオープン。朝方発表された米9月雇用統計は、非農業部門就業者数と平均時給が予想を下回ったものの、先月分のみ非農業部門就業者数が上方修正されたほか、失業率が50年ぶりの低水準となり、総じて予想ほど悪い結果ではなかったとの見方にドル買いで反応し、107.13まで上昇。しかし、米金利が低下する中、買いは長続きせず、106.82まで反落する。午後はパウエルFRB議長の「米経済はリスクを抱えているもの、総じて良好な状態である」との発言が伝わると小幅に上昇するが、週末を前に積極的な取引が手控えられている中、107円台回復には至らなかった。終盤は小動きとなり、結局106.94レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルも、イベント前に様子見ムードが広がったことから、1.0980近辺で方向感の乏しい値動きが続き、1.0982レベルでNYオープン。朝方は雇用統計の発表直後に上昇し、1.1000をつける場面もあったが、ドル買い優勢となったことから1.0958まで反落。その後、外ロー米NEC委員長がインタビューで「米製造業輸出の問題は中国ではなく、欧州が起因となっている」と述べたものの、ユーロドルの反応は限定的だった。米金利の低下を背景にドル売りが進み、1.0987まで上昇。しかし、欧州経済への景気後退懸念が煽る中、上値は重く1.0980近辺で小動きとなり、そのまま1.0980レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 伊藤・玉井 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

	竹内	加藤	関	光石	岡本	上野	原田	玉井	森谷	ブル	ベア
Today	ベア	フル	ベア	ブル	ベア	ブル	ブル	ベア	ベア	4	5
Week	ベア	ベア	ベア	ブル	ブル	ブル	ブル	ベア	ベア	4	5